

無∞限∞大

鳳高校 74 期生学年通信
(第 4 号) 2021/7/20
三年次学年通信編集係

第 2 考査が終了しました。進路講演会で話された内容を思い出してください。現在は、「基礎力完成期」です。しっかり復習し、定着させることが大事です。学校の定期考査は、基礎から応用までまんべんなく出題されます。もちろんそれは、各教科の先生方が「復習、定着の大切さ」を理解しているからです。

第二考査 講評

英語総合

第 1 考査の平均点が 69.9 であり、今回は既出で学習した入試長文を、応用的な問題に変え、出題しました。また動詞イディオムを中心としたネクステの問題と、6 点分の思考力を問う英語問題を出題した結果、第 1 考査を含めた全体の平均点が 55 点ベースとなりました。前回よりも難度があがり、また考える問題も多く、高得点は難しかったテストとなりました。ただし、英文和訳やパラグラフにおける訂正問題など、しっかり答えている解答もたくさんあり、思考力をともなった読解力が上がっています。夏休み以降、英語力向上につながるはずです。長文問題が苦手な人は、1 日 1 題は解く習慣(すでに学習した英文を音読することも含めて)を、この夏休みは自分に課し、取り組んでいきましょう！！

英語読解特講

第 2 考査の学年平均点は 53.9 点でした。問 A,B は授業で扱った英文からの出題でしたが、よく本文を読んで、英文理解がしっかりとできている人が多いなと感心しました。応用問題である問 C では著者が言いたいことを掴むことを問いました。「木を見て森を見ず」にならないよう、細かい所にこだわりすぎず、骨子をつかむ必要があります。(時に一見些末に見えるところに流れの転換点があることもあります)

また文章を読む際、知識・常識は圧倒的に役に立ちます。しかし、常識にこだわりすぎ英文の流れに追いつけなくなることもあります。今回も「人口減少＝悪」であると想定して英文を捉えて全く違う方向に向かって行った答案もありました。そういったことも頭の片隅に置きながら、夏からはたくさん英文を読んでいって欲しいと思います。

英語表現Ⅱ

平均点は 53.5 点でした。授業でやった問題を、形式を変えて出題しました。ですが、きちんと書き取れるまで自分のものにできている人が多いな、という印象でした。いつものように勉強したのに思うように点数が取れなかったという人は、入試でも同じこと、つまり、せっかく勉強

した項目が出題されたのに答えられない、ということがおこりかねません。間違えた問題はもう一度復習しておきましょう。英作文はテキストどおり出題したので、特によくできていました。ただし、解答を丸暗記している人は入試で応用がききませんので、構文や重要表現、5 文型を使いこなせるように、しっかり理解し、練習を積んでおきましょう。また、文法的に矛盾がないように見えても不自然な表現をしている時があります。入試で正答ととらえられるか微妙な時もありますので、授業中に解答待ちではなく自分でやってみて、疑問点は解消しておきましょう。

現代文 B

大問一の問十や十一は表現や内容全体にかかわる問題であった。こうした問いはセンターなどで頻出であり、前回の進研模試で鳳高生が全国平均を上回っていた問題でもある。強味を活かせるよう今後もこうした出題に慣れていってほしい。一方、言葉の知識に関して大問二の問一は両方正解してほしかった。これは逆に、前回進研模試で全国平均を下回る問いであった。つまり、模試で弱点と指摘された箇所が定期考査でもできていないわけである。考査に真剣に取り組むこと、言い換えれば、普段の授業に真剣に取り組むことが、学力をつけることにつながる。

古典 B

実力問題については問 5 (i) の正答率が低かった。漢文が出題されていることもあるが、おさえておくべき基本知識で対応できるところである。前回の講評でも記したが、「基本を徹底的に身につけること」を意識して、この夏休みを過ごしてほしい。大問一では問二や問四の文法問題で取りこぼしが多数見られた。助動詞の文法的意味が答えられても、活用形を間違える。活用形は基本的なものを覚える以外に後に続く語との接続を意識することで正確に選べるはずである。また、こうした文法的知識以外にも、表現技法や古文常識といったことも定着させていこう。そのためには、日々、古文・漢文にふれることが大事である。

現代文発展

(一)(二) はテキストの評論、(三) は問題集、(四) は初見の評論から出題でした。

それぞれの得点率は 63.6%、59.3%、48.3%、42.6%、速読が未熟で時間配分が不得手な者ほど、(四) まで進むことができず、時間が足りない焦ったことだと思います。ただし、出題内容は基本的なもので、漢字の読み、書き取り、語句(意味・同意語・反意語等)が中心、それぞれの主題さえ押さえておけば解ける問題が殆どで、点数は確保できたはず。また、設問内容をしっかり読まずにミスした人もかなりいました。気を付けましょう。記号で選ぶ選択問題は知識を問うもの、内容を問うものに分かります。記号だからとたかをくくらず、内容を把握するために丁寧に読み解きましょう。

夏休み中は地道に語彙力をつけ、特に評論は段落ごとに主文を見つけ一行要約できるように練習してみる。また、新聞のコラム・論評などは入試問題に出題されやすいので、意識して様々な文章に目を通すようにしましょう。

古典発展

第2 考査 授業内容、問題集はよく復習していたと思います。助動詞の意味用法、接続、品詞説明力は人によって差がありました。記述で説明するときは、対比ポイントを捉えて書く(一の間九(4)) こと。また書き方が不正確なために、×となる解答(四の間五)があり残念でした。どういう表現をすればよいのかは、記述解答を自力で書いて、解答と照合することで身に付きます。「ニューエイジ」の記述設問を本気でやってください。記述をすることで選択式の問題の「選球眼」も養われます。

古文購読A

平均点は52.8点でした。第1 考査と同様に教科書本文の内容(ストーリー展開)についてはよくできていました。また、句読点抜けや誤字脱字なども少なく、ケアレスミスが前期よりも減った印象でした。残念だったのは、文法事項(助動詞)の基本事項を問うている設問の正答率が低かったことです。文法問題で失点の多かった人は、夏休み中に今一度、基本形・文法的意味・訳・接続などを確認し、身につけておいてください。

国語常識B

第1 考査の平均点が非常に高かったので、難易度を上げるために完答を増やし、新聞記事やネット上のコラムなど初見の文章も出題しました。苦戦した生徒もいましたが、自己PR文も含めて普段の取り組みの成果が出ていました。

世界史B

第一考査が平均62点しかなかったため、ちょっとヒントを増やして答えやすくした。その結果、平均点は69.5点になり、鉛筆組も3人になった(他に88点、86点など)。よく頑張ったことと思う。その一方、30点台2人、20点台も1人いた。得意不得意はあろうが、ちゃんと授業を聞いて、10分間の復習を励行すれば、けっして取らない点数である。奮起を期待したい。

何かと歴史的な年である。コロナ、オリンピック、総選挙。世界を見る目を養い、この世界は世界史の上に成り立っていることを深く認識してもらいたい。授業はいよいよ近世から近代へ差し掛かる。

日本史B

よくがんばりました。定期考査は時代を区切った確認テストだと考えましょう。考査のためだけの勉強にならないように。夏休みを使って、1学期に学習した部分も繰り返し見返しましょう。反復あるのみ、です！試験明けからはいよいよ中世です。

日本史発展

よくがんばりました。同じ時代の問題が出てパッと思い出せるようにする必要があります。試験を受けっぱなしにせず、同じ



問題を今後も定期的に(1か月に1度は)解いてください。

倫理2・3

平均69.4点と第一考査と比べると低くなりましたが、みなさんよく頑張っていたと思います。第二考査での頑張りを無駄にしないよう、定期的に問題集を用いて復習してほしいです。1学期は西洋の思想がメインでしたが、2学期は東洋の思想から始まります。雰囲気もガラッと変わりますので、西洋と東洋の違いを楽しみながら勉強してもらえたらと思います。

物理

平均は61.4、最高点90でした。大問1の基本事項の確認は単振動へつながる円運動の項目です。正答率が50%台のところもありました。単振動が円運動の正射影であるという理解がないと2(4)の問題は位相を考える必要があるため解けません。ここも正答率が30%を割る箇所があったので、不正解の人は再度、円運動と単振動のつながりを確認しておきましょう。その他、正答率の低いところでは2(2)CDが色づいて見える理由です。「分散」とした人が多かったようです。3(7)は初見の問いかもしれませんが。選択肢があるので無答率は低かったですが正答率は20%にとどまっています。問題をみて解きなおしておきましょう。5(5)~(7)は単振動の式の問題です。三角関数の知識が必須ですが、微積分が得意なら違うアプローチもできたかもしれません。自分の得意な形だけでなく「違う解き方」もできるようになっていきましょう。光の分野からの出題の4ヤングの干渉と6薄膜の問題は、しっかり対策ができていたようです。

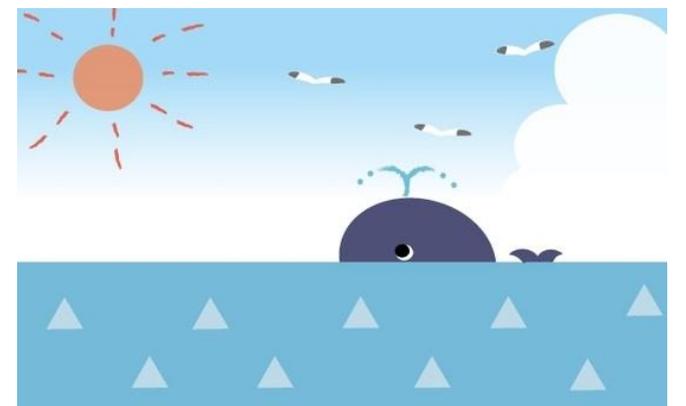
物理演習

基本的な問題を集めた。最低でも60点という気持ちで作成した。最速で解けるように求めたい。

地学基礎演習

60~70点になるように作成したが、それを上回るかもしれない。

考査は、授業で取りこぼしている知識をなるべく網羅することと、宿題をまじめに取り組んだかをチェックする目的に重点を置いた。また、センター試験よりも高いレベルの問題とした。これは共通テストを見越してのものだが、共通テストは昨年難易度が低かったこともあり、今年は表や計算、深い知識など、いつもよりも難化することが十分に予想されるので、一つずつしっかり理解を求めたい。



ストレス解消法

夏休み勉強に向かう毎日でストレスもたまるかもしれません。担任の先生方は普段どのようにストレスを解消しているか聞いてみました。参考になりますか？

1組

土日は空いた時間は大抵テニスコートに立ってラケットを振っています。コートで最大 8 時間プレイできるテニスクラブに入って 12 年、勝っても負けても健康維持のために通っています。硬式テニスを始めたのは 38 歳の時ですから、君たちのようにはいきませんが生涯スポーツだと思って続けます。今年はまた海外旅行にも行けないので、過去の写真の整理をしたり、海外在勤の人からの写真をもらっては、コロナ後を楽しみにしています。

2組

孫の動画を眺める。癒されますよ～。猫と戯れる。

3組

4組

我が家の子どもたち（長男：6歳、次男1歳）の笑い声を聴くことです。屈託なく笑う笑顔を見ればストレスも吹っ飛びます！小さい男の子は、「〇〇〇！」と言えば大爆笑、つられて次男も笑ってくれます。高坂先生とかぶってしまいますが、夏は子どもと銭湯に行って、ふろ上がりにフルーツ牛乳を飲む息子と乾杯なんかすると幸せってこういうことなんやなと思います！

5組

銭湯が好きで、あちこち巡っています。お風呂を楽しむために、軽く運動して汗をかき、その後にゆっくりとお風呂に入る。湯上りの牛乳は、もちろん腰に手をあてて、一気に飲む！週末にリフレッシュして、気分も新たに月曜日を迎えています。

6組

7組

8組

体を動かしています。普段の通勤では自転車を使うためこれがストレス解消になっていると思います。長期の休みで自宅にいるとかえって体調を崩すので、そういう時はリングフィットアドベンチャーで体を動かすようにします。

今後の予定

朝読について

21、26～30日（月～金） 保護者懇談

手帳について

生活指導部より

校外学習について